

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2010

課題番号：20530689

研究課題名(和文)

スウェーデンにおける民衆学校制度の成立・展開とスロイド教育

研究課題名(英文) Development of folk school and sloyd education in Sweden

研究代表者：

横山 悦生 (YOKOYAMA ETSUO)

名古屋大学・教育発達科学研究科・教授

研究者番号：40210629

研究成果の概要(和文)：スロイド教育の民衆学校への導入過程を検討するために、①1842年の民衆学校令とその後の実態の分析、②1860年代から1870年代における民衆学校の実態の調査・検討した。1864年の回状によって学年別によるクラス分けが都市部の学校を中心に可能になったが、農村部では複式学級が多く、人口のまばらな北部などには巡回型民衆学校がその後も長く存在した。そのために、スロイド実習室(工作室)が整備はきわめて遅れた。1865年出版された学校建築に関する標準プランにおいては、学校建築図面においてスロイド実習室はまったく記述されていなかったが、1878年に出版された同書においては都市部のみならず、農村部の民衆学校にもスロイド実習室をもつ学校建築図面モデルとそれをもたない学校建築図面モデルが示された。

研究成果の概要(英文)：To examine the introduction process of sloyd education to folk school curriculum, actual condition of folk school was investigated by the analysis of 1842 folk school law and afterwards(1860's and the 1870's). By circular in 1864, dividing process of each grade in folk school was executed. But there were still many plural classes in local areas, specially in northern part of Sweden. Sloyd work shop constructed extremely late for that.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合 計
2008年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2009年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
総 計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学

キーワード：教育的スロイド、スウェーデン、民衆学校、オットー・サロモン

1. 研究開始当初の背景

2003年から2004年にかけてスウェーデンのストックホルム教育大学に客員研究員として滞在し、その後2005年から3年間科研費の交付を受け、スウェーデンのスロイド教育の創始者ともいえるオットー・サロモンに

についての資料を収集し、分析を加えた。その結果、サロモンのスロイド教育論の背景には、当時の民衆学校の状況が大きく関係していることを見出した。

2. 研究の目的

スロイド教育の成立・発展過程を当時の民衆学校の実態と展開過程との関係において分析することを目的とした。

3. 研究の方法

民衆学校の実態を把握するために、当時なされた調査や統計、雑誌記事などを分析した。

4. 研究成果

1842年に制定された「民衆教育令」は、スウェーデンにおける民衆教育を学校教育として制度化した最初の重要な法令として知られるが、先行研究では細部に立ち入った分析に欠けていた。①「民衆教育令」直前の民衆教育の実態との関連において「民衆教育令」の意義を解明し、②「民衆教育令」制定直後の1840～50年代に展開されたスウェーデンにおける民衆学校制度の形成過程の実情を解明し、民衆教育令体制の若干の特徴を摘出した。民衆教育令がもたらした結果の主要な側面は、学齢児童を就学させるために原則として全教区に民衆学校を設置するという基本的な法制度を確立した点にある。その結果、民衆教育は急速に普及し、法令発布後5年して全く学ぶ機会をもたない児童が早くも学齢児童の6%台に減少したように、初歩的な基礎を確立した。この結果は固定型学校を普及させることを基本としながら、さらに人口希薄な地域に巡回型学校を広範に取り入れたうえ、伝統的な家庭教育を容認するなど、多様な就学形態を含み込む柔軟な政策がもたらした。民衆教育を普及させるうえで決定的な弱点であった教師の不足に対処するために、当面は助教制を温存させながら、教師の資格を設定し、教師養成と教師の待遇の抜本的な改善に着手したこと、教員配置と教師養成に対する国庫補助を強化したことも民衆教育令がもたらした重要な施策である。他面で、民衆教育令体制はなお大きな弱点

をかかえており、期待された教育実態が伴わなかった。巡回型学校への児童の就学は教育効果が必然的に脆弱化せざるを得なかった。固定型学校の普及は著しかったが、その大半は1学校1学級の単級学級であり、資格をもつ教師の絶対的不足のなかで助教制に依拠せざるを得ないなど、多くの弱点があった。「最低限の知識を習得した児童」の数が法律の施行後12年を経ても4%台にとどまったことは、民衆教育令体制の大きな弱点を象徴していた。即ち、民衆教育令体制は民衆教育の実を効果的に達成したというには程遠かった。民衆教育令の帰結は、初歩的教育を広範な国民に普及させたという積極面と、教育効果は甚だ初歩的な水準にとどまったという両極が併存していた。

1842年以降1882年までの民衆学校の実態の変化とそれとの関係におけるスロイド教育の発展過程を検討した。そのために、ストックホルムとイエーテボリに関する資料を収集し、分析した。その分析のために、民衆学校の100周年を記念して企画された、『スウェーデンにおける民衆学校の歴史（”Svenska folkskolans historia、III 1860-1900）』（1942年）を検討した。この文献は、教師の立場から見た民衆学校教育の発展が詳細に叙述されている。この文献から判明した事実は以下のものである。1860年代後半にストックホルムではメイエルベリが視学官となり、学校教育が無秩序な状況から秩序づけられ、その方向に大きく変化していった。スロイド教育については、ストックホルムでは1870年ごろから工場主がその導入を提案した教区が存在した。その場合のスロイドは、初期のころは金属工業と関連する金属加工がその内容とされた。オットー・サロモンの教育的スロ

イドの理念が最初に取り入れられるようになったのは、1882年からで、その際に大きな役割を果たしたのが、フリーチューブ・ベリエであった。イエーテボリでは、1870年代後半から1886年までは、スロイドは職業教育的な目的をもち、木工、金工、製本技術などを教えていた。その後、次第にオットー・サロモンの教育的スロイドの理念に基づいて、木工を中心としたものに変化していった。

1870年代に民衆学校の実態については、1864年の回状によって学年別によるクラス分けが都市部の学校を中心に可能になったが、農村部では複式学級が多く、人口のまばらな北部などには巡回型民衆学校がその後も長く存在した。そのために、スロイド実習室（工作室）が整備はきわめて遅れた。1865年出版された学校建築に関する標準プランにおいては、学校建築図面においてスロイド実習室はまったく記述されていなかったが、1878年に出版された同書においては都市部のみならず、農村部の民衆学校にもスロイド実習室をもつ学校建築図面モデルとそれをもたない学校建築図面モデルが示された。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

- ① Etsuo Yokoyama, Tetsuro Matsumoto
Handicraft Education and Technology Education in Japan' 'Технологическое Образование как фактор инновационного развития страны' (Материалы XVI международно

д н о й н а у ч н о - п р а к т и ч е с к о й к о н ф е р е н ц и й), 2010年, pp. 20~25
(査読なし)

- ② ETSUO YOKOYAMA "Skapandet av det allmänna skolsystemet i Sverige - 1842 års folkskolestadga och dess betydelse" 『技術教育学の探究』第5号, 2008年10月, 137-154頁
(査読なし)

- ③ 横山悦生「スウェーデンにおける民衆学校制度の形成——1842年の民衆教育令の特徴とその後の国民教育の実態から——」『北欧史研究』第25号、2008年、43~54頁
(査読有り)

〔学会発表〕（計3件）

- ① Etsuo Yokoyama, Tetsuro Matsumoto "Handicraft Education and Technology Education in Japan" ('Технологическое Образование как фактор инновационного развития страны'), ヤロスバリ、ロシア、2010年10月5日

- ② Etsuo Yokoyama, Tetsuro Matsumoto, "Handicraft Education as a basis for future of humanity and human nature", Quality in Education (Faculty of Arts, Folk Culture and Teacher Education, Notodden, Norway), 2009年8月12日

- ③ Etsuo Yokoyama, Skapandet av det allmänna skolsystemet i Sverige - 1842 års folkskolestadga och dess betydelse, (Svenska Historikermötet), ルンド大学（スウェーデン）, 2008年4月24日

〔図書〕（計1件）

Влияние системы
Отто Саломона на
развитие трудового
обучения и

политехнического
образования в мире /
Етсуо
Ёкояма, Николай
Котрянов. [et al.] = The
influence of Otto Salomon's system on
development of labour training and
polytechnic education in the world /
Etsuo Yokoyama, Nikolai Kotriahob...
[et al.]. 2010, 304

[その他]

ホームページ等

[http://gijyutukyouikugaku.blogspot.
com/](http://gijyutukyouikugaku.blogspot.com/)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

横山 悦生 (YOKOYAMA ETSUO)

名古屋大学・教育発達科学研究科・教授
研究者番号：40210629

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし